

<全体分析>

試験時間 90 分

解答形式

記述式 (一部客観式を含む)

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

2022年度は1,706 wordsであり、2023年度は1,737 wordsであった。

出題の特徴

- ・1,500~1,800語の長文一題。例年、医学・生物学に関係のある内容。文体はジャーナリズム的。語義選択、内容真偽、和訳、英問英答、要約問題などが出題されているのは例年通り。医学科と歯学科受験者は大問**3**、**4**、**5**、**6**に、保健衛生学科と口腔保健学科受験者は大問**1**、**2**、**3**、**5**、**6**に答えよという指示が付されている。
- ・要約問題は「400字以内」で安定している。キーワードを3つ盛り込むことが要求されていることも例年どおり。
- ・大学入試では標準的ではない単語が散見されるが、語注が付いていない。(2022年度から語注なし)
- ・伝統的に**6**の要約問題は、思考力、判断力、表現力を評価する問題になっている。

その他トピックス → **6** 思考力・判断力・表現力

Knowable Magazine(2022年4月28日)に掲載された“The awake ape: Why people sleep less than their primate relatives”(Elizabeth Preston)からの出典であった。「人間の睡眠に関わる変化や特徴」について、この記事の著者が挙げていることを「進化」「レム睡眠」「集団」の3つのキーワードを用いて400字でまとめるには、全文を網羅的に理解しながら、問いの要求に合わせて情報を取捨選択する必要があるため、やや時間を要する。

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	読解総合	語義選択	難度の高い単語はなく、標準的な語彙レベル。	標準
2	読解総合	指示語記述	<i>Answer using one to five English words that can replace the underlined word.</i> という指示が付されていることに留意する必要がある。	標準
3	読解総合	内容真偽	本文との緻密な照合が必要となる。 小問数は24問で安定。	標準
4	読解総合	英問英答	<i>in your own words</i> という指示があるので、キーワードは可能な限り言い換えをするほうが望ましい。複数の内容が求められているので、10語から25語という指定語数で解答を書くのに苦勞する。 2020年度2問、2022年度1問に続き、2023年度も summarize の問いが1)で1つ出題された。2)、3)は答え方に工夫が必要。	やや難
5	読解総合	英文和訳	標準的なレベルの問題なので、失点は避けたい。 (ア) be up for debate の訳出に注意。 (イ) how much we wish we slept の訳出を工夫する。	標準
6	読解総合	要約	字数内に収めるのに工夫が必要。「人間の睡眠に関わる変化や特徴」に焦点をあて、複数の情報を取捨選択して解答をまとめる力が求められている。	やや難

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

The New York Times 等の新聞を用いてジャーナリズム的文体に慣れたり、*Scientific American, Science, BBC* 等の英米の雑誌に掲載されているような論文・記事を読んだりして日頃から練習しておくこと。内容面では、世間で常識とされている事柄に対して疑問を投げかける論調のものが多い。もちろん、それを読解するためにはしっかりとした語彙力、文法・構文力が要求される。内容真偽問題や英文和訳問題ではあまりミスをしたくない。合否を分ける最大のポイントは最後までしっかりと読んで、要約文を書ききれるかどうかである。長い英文を読む場合は、時間と字数を定めて論点を絞ってまとめる練習が必要である。その際に、パラグラフごとに簡単なコメントを記しておく、英文の内容をまとめやすくなり、内容真偽問題の吟味にも役立つ。それに加えて、英問英答で的確な答案が自分の英語で書けるように、日頃から言葉の言い換えなどに注意して英語表現力をつけておこう。